

つながろう

OKITAMA

機関紙



連合置賜

2021年6月16日

2021 春夏号

連合山形置賜地域協議会

発行責任者: 佐藤浩昭

〒992-0042

米沢市塩井町塩野 1-1

米沢地区勤労者福祉会館内



【2021年秋の闘いに向けて】

連合山形置賜地域協議会

議長 佐藤浩昭



連合置賜地協構成組織、組合員の皆様の連合運動に対するご理解とご協力に感謝を申し上げます。

連合山形は10月21日に任期満了となる第49回衆議院選挙において、『加藤けんいち』氏（山形2区）の推薦を決定し闘いに向けた取り組みを進めています。

連合置賜地協としても去る5月8日「連合置賜議員懇談会 全員協議会」を開催し、推薦議員団の皆様から国政・県政・各市町における活動報告を受けると共に、来たる衆議院選挙において連合推薦候補者、『加藤けんいち』氏の必勝に向け、一体となった闘いを組むことを確認してまいりました。

各構成組織の皆様もコロナ禍における労働運動（日常生活）に大変苦勞されていることと存じますが、置賜地協も「旗開き」「メーデー」の中止をはじめ、大衆運動が組めない現状の中で、幹事会で論議を重ねながら活動を進めているところです。

そこで、連合置賜地協の現在の運動報告と共有化を目的に本紙を発行することといたしました。連合置賜地協幹事会の思いをご理解いただき、各構成組織の組合員の皆様へ「ご回覧」をお願いする次第です。

2021春闘はコロナ禍をはじめとした日本経済の影響を受け、昨年を下回る結果となっているようです。

厳しい時代だからこそ団結が必要です。私たちの生活と未来は私たちの行動と運動でしか変えることは出来ません。迎える闘い「第49回衆議院選挙」はオリンピックが開催されれば、終了後解散がマスクミを中心に想定されています。

「私たちが未来を変える」2021年秋の闘いを共に力を合わせ頑張りましょう。

# 第49回衆議院議員選挙山形2区

## 候補予定者「加藤健一氏」組織訪問活動始まる!!

本年10月21日に任期満了を迎える衆議院議員選挙（第49回衆議院議員選挙）まで、残すところあと4ヶ月となりました。令和初となる総選挙の日程は、現時点で東京五輪後となる9月の公算が高くなっておりませんが、未だ具体的な日程は確定しておりません。

連合山形が既に推薦決定した山形2区立候補予定者の『加藤けんいち氏』については、新型コロナウイルス感染症の急拡大によって思うような訪問活動も出来ず、連合置賜地協としても各地区旗開きやメーデーも相次いで中止となった事から、組合員の皆さんへのご紹介もままならない状況です。

昨年12月以来、長らく持ち回りとなっていた連合置賜幹事会も4ヶ月ぶりに招集した形で開催する事が出来た為、早速幹事会の場において『加藤けんいち氏』からご挨拶と決意表明を受け、その後訪問やWEBでの面談をご承諾いただいた構成組織に対し、感染防止対策を万全に講じたうえでご挨拶回りを開始させていただきました。

新人候補である為、まずは知名度向上と掲げる政策の周知が急務であり重要な取り組み項目となっております。今後も引き続き、訪問ご承諾をいただいた構成組織に対しご挨拶にお伺いさせていただきたいと思っておりますので、皆さまからの絶大なるお力添えを宜しくお願い申し上げます。



【幹事会にて挨拶と決意表明を受ける】



【会社前入口での組織訪問ご対応の一例】



【車椅子の為、会社入口からの入室が可能な場合は組織訪問も会議室等で対応いただいた】



# 祝2021メーデーの取り組みを実施しました

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって各地区でのメーデーが2年連続で中止となりました。メーデーの意義となる「働く仲間とお互いをねぎらい、たたえ合う」事が叶わず、そして毎年楽しみにしていた抽選会等のイベントも実施出来ず残念でなりません。

その為、連合置賜地協幹事会で協議し、メーデーは労働者の祭典である事を全構成組織の皆さんと改めて確認しながら、そしてコロナ禍で疲弊した地域経済を少しでも応援する為、全ての構成組織に対し4月26日付けにて商品券及びタクシー乗車券を簡易書留で郵送・進呈し、2021年の置賜地区メーデーを祝い合う事と致しました。

新型コロナウイルス感染症は未だ収束が図られず、労働運動も制限され不自由な生活が続いておりますが、この状況が一日も早く解消され平穏な日々が戻ります様、皆様の更なるご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。メーデー万歳！！働く者の祭典万歳！！

## 【祝2021メーデー進呈の際に同封したピラ】



【表】



【裏】

各構成組織において、今回受理いただいた商品券やタクシー乗車券の取り扱いは様々だった様ですが、来年こそは、各地区メーデー会場とともに労働者の祭典『メーデー』を祝い合える事を楽しみに準備を進めて参ります。(各地区事務局一同)

# 2021年度議員懇談会全員協議会を開催

去る5月8日土曜日、南陽市えくぼプラザにおいて2年ぶりとなる2021年度連合置賜議員懇談会全員協議会を開催しました。

昨年度は感染拡大防止の為書面決議となりましたが、今年度は感染対策を十分講じたうえで開催し、舟山康江参議院議員や芳賀道也参議院議員をはじめとした県・市・町議会支援議員団と連合役員が一堂に会し、出席いただいた議員団15名よりそれぞれ近況報告を受け、その後前年度の活動報告と次年度の活動方針を確認致しました。

会の冒頭では、来る第49回衆議院議員選挙山形2区より立候補予定の『加藤けんいち氏』からも決意表明をいただき、最後に佐藤議長の音頭でサイレント形式による必勝ガンバローを行い結束を強め勝利を誓い合いました。

我々働くものの政策実現の為、そして働きやすい・暮らしやすい国づくりに向けた運動に対し、皆さまからの引き続きのご協力を宜しくお願い申し上げます。



【佐藤議長より主催者挨拶】



【議員団代表の舟山康江参議院議員より挨拶】



【議員団代表の芳賀道也参議院議員より挨拶】



【加藤けんいち氏より挨拶と決意表明】



【連合側出席役員からの自己紹介】



【各議員からの近況報告（青木県議より）】



【各議員からの近況報告（関町議より）】



【事務局からの議員懇談会活動方針提議】



【佐藤議長音頭による出席者全員での第49回衆議院議員選挙必勝ガンバロー※サイレント形式】

# 東北労働金庫長井支店新店舗へ移転！！

## 記念品の贈呈実施とオープニングセレモニー開催

6月7日月曜日に移転し開店する東北労働金庫長井支店に対し、大安吉日となる5月31日月曜日夕方、佐藤議長より生田支店長様へ記念品の掛け時計を贈呈させていただきました。

5年前に労金米沢支店が新店舗開店した際は、構成組織の皆さまから賛助金を募り今回同様の掛け時計を贈呈させていただきましたが、今回は幹事会で協議した結果、一般会計からの拠出にて記念品を贈呈する事と致しました。

また、6月7日当日のオープニングセレモニーでは、連合置賜地協佐藤議長と西置賜地区連絡会平井代表を来賓として出席させていただき、節目となる特別な日に立ち会う事が出来ました。

贈呈させていただいた掛け時計と共に日々の労金活動が力強く刻まれていく事をご期待申し上げますと共に、今後益々の労金運動発展を祈念致します。



【労金長井支店生田支店長様へ佐藤議長より記念品の掛け時計と目録を贈呈】

### ■ 2021年6月7日(月) 東北労働金庫長井支店新店舗オープニングセレモニー



【白つつじ公園側からの新店舗全景】



【店舗前駐車場での記念セレモニー】



【各ご来賓参加の開店記念テープカット】



【贈呈の掛け時計は会議室へ設置いただきました】



【ご来賓の皆様による店舗内見学】



【ご来客第1号の労金労済推進委員会菊池会長】



### 『新店舗所在地』

〒993-0003  
 長井市東町7番27号  
 電話：0238-84-1100※  
 FAX：0238-84-0244※  
 ※電話・FAX番号は  
 いずれも変更無し

7月31日まで、オープン  
 記念キャンペーンも実施  
 中です！！

# 連合置賜地協車が新しくなりました！！

2009年9月から12年間活躍してきた地協車（マツダ：ファミリアバン）ですが、豪雪地における酷使によって車軸やボディの劣化が激しくなったこともあり、連合山形方針によって車両更新とする事が決定致しました。

折からの半導体供給不足による納期遅延もありましたが、5月から新しく導入された地協車（トヨタ：プロボックス）は、置賜地協車初となるパワーウィンドウも備えられており、今後の街宣行動や政策実現活動などの様々な場面で活用させていただく事となります。（事務局）

※アンプやスピーカー等の音響設備は6月末頃に設置予定です



※写真は6月4日時点の画像の為、スピーカー未設置の状態です

## 【編集後記】

新型コロナウイルス感染症が置賜地域で確認されてから1年と2ヶ月余りが経過しましたが、期待されたワクチン接種も思うように進まず、今も不自由な生活が続いています。

そんな中、6月6日(日)に東京オリピック聖火リレーが置賜地域を駆け巡ったニュースを拝見し、初日ゴールを迎えた聖火ランナーの感想に強く感銘を受けました。

『今はコロナ禍という状況でオリピックをやらない方がいいんじゃないかという声も上がっているが、どうやったら出来るかを考えて生活することも大切ですし、コロナ禍だからこそ世界の希望になるような大会になって欲しいと思います』

様々な制限から、世の中が息苦しくなり不満が増大して生きにくい思想も増えている様に感じます。東京オリピック開催可否の議論は当然あるうかと思いますが、『出来ることをみんなで考える』事は、同じように労働運動にも求められているのではないのでしょうか。簡単な課題ではありませんが、働くものの生活向上の為、成し遂げなくてはならない課題でもあると考えます。（事務局）